



(左)人権擁護委員が紙芝居を披露した。

10/12

紙芝居で人権の心を

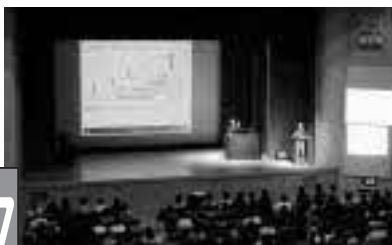
大竹中央幼稚園

紙芝居で人権の心を知ってもらおうと、人権擁護委員による人権紙芝居が、10月12日に大竹中央幼稚園で行われた。

紙芝居の題名は、「お月さまわらったよ」。思いやりの心を伝えるストーリーに引き込まれ、紙芝居から視線を外さない子どもたち。人を思いやる心を学ぶ、とてもよい機会になったようだ。



(上)初めて聞くストーリーに聞き入る子どもたち。



10/17

(上)香山さんの講演に続き、会場には多くの人が集まった。
左「自分ができることを一生懸命やりましょう」と話す勝間さん。



世界のごはんにチャレンジ

総合市民会館

各国の食文化を知ってもらおうと、国際交流協会による「一緒に作ろう!!「世界のごはん」」が、10月6日に総合市民会館で行われ、22人が参加した。アフリカ・ガボン共和国出身のブツェケ・ジャン・オメアさんを講師に招き、「鶏肉とオクラの煮込み」など、ガボン共和国の伝統料理3品に挑戦。悪戦苦闘しながらも、皆で楽しく調理を行っていた。



10/6

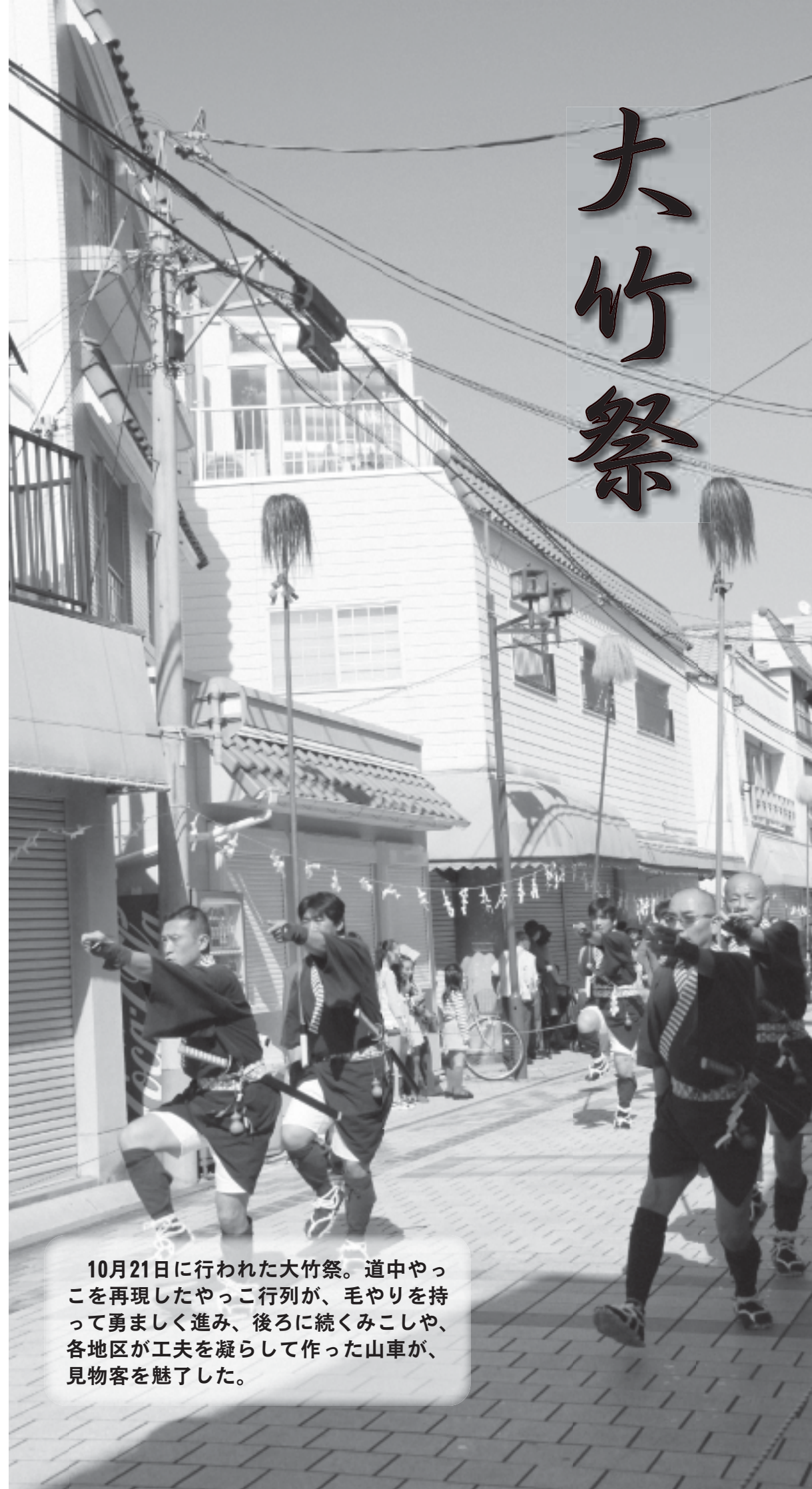
(右)牛テールのトマト煮込み【上】、鶏肉とオクラの煮込み【右下】、牛肉のシヨコラ煮込み【左下】。
※シヨコラ：マンゴーの種を砕いた粉末状の調味料



勝間さんのやる気の出る講演会

アゼリアホール

さまざまな文化にふれる、市民文化講演会。今年度は「心」をテーマに、2人の講師を招いた。9月1日の香山リカさんに続き、10月17日には、勝間和代さんの講演がアゼリアホールで行われた。「やればできる」という演題で、勝間さんは、「自分のできることを一生懸命やればいい。そして、今やっていないことにも、できることがあるかもしれない」と話し、集まった聴衆は、香山リカさんとの話の違いを意識しながら聞き入っていた。



大竹祭

10月21日に行われた大竹祭。道中やっこを再現したやっこ行列が、毛やりを持って勇ましく進み、後ろに続くみこしや、各地区が工夫を凝らして作った山車が、見物客を魅了した。



CONTENTS

特集

06 帰ってきた gomidas

02 カメラスケッチ

- 08 大竹市地域福祉計画市民アンケート結果
- 10 「大竹市民の幸せ感に関するアンケート」結果発表／第五次大竹市総合計画／みんなで築こう人権の世紀
- 12 おめでとうございます／市職員募集
- 14 固定資産税に関するお知らせ／小中連携・小中一貫だより
- 16 市消費生活センター／生涯学習講座
- 18 シリーズ／みんなで考えよう公共交通
- 20 としょかんだより
- 21 情報ステーション
つどいの広場／親と子の本の広場／子育て／健康／福祉／講座／催し／募集／お知らせアラカルト／先どり情報ステーション
- 31 おおたけ再発見／広告
- 32 はじめまして／和太鼓の響

今月の表紙

石油コンビナート等総合防災訓練



表紙の写真は、10月30日に東栄地区で行われた、広島県石油コンビナート等総合防災訓練の様子です。

隔年で、県内3地区で交代で行われている訓練ですが、今年度は4月の岩国地区でのコンビナート事故の検証結果をふまえ、関係機関などの連携や住民の避難など、さまざまな訓練が行われました。



(上)糖尿病をテーマに、健康づくり講演会が行われた。
(右)各相談コーナーは多くの人で賑わった。

(下)福祉関係者団体による作品の展示。



10
27・28

楽しんで健康づくり
サントピア大竹

健康や福祉のことをもっと知り、考えてもらおうと、大竹ふれあい健康福祉まつりが、10月27日、28日にサントピア大竹で開催された。

会場には健康や福祉に関する展示や、実際に体験できるコーナーも多く設けられ、訪れた人はいろいろな展示を見たり、測定してもらったりしていた。また、会場では糖尿病をテーマにした健康づくり講演会があり、入山市長や荒田医師会長などによるディスカッションも行われた。



(上)雨にも関わらず、会場は傘をさした多くの人で賑わった。



(上)室内でのステージイベントに、体育館は熱気に包まれた。

11
11



(右)AEDを使用した、救急救命の体験。

雨の中みんなで盛り上がる
総合市民会館・消防署周辺

11月11日、市内最大のイベントである「コイ・こいフェスティバル」が、今年も総合市民会館周辺で開催された。あいにくの雨の中での開催となったが、会場はさまざまな出店やステージイベント、フリーマーケットなどでにぎわった。

また当日は、会場隣の消防署でも消防フェアがあり、子どもたちがAEDを使っての救急救命の体験や、消防服を着て消防車と記念撮影をしたりしていた。